

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特定医療法人 新仁会 新仁会病院	階数	地上4F
建設地	大阪府和泉市寺田町二丁目	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年9月13日
敷地面積	5,826 m ²	作成者	木村優介
建築面積	2,159 m ²	確認日	2020年9月13日
延床面積	7,182 m ²	確認者	木村優介



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
総合的に特に維持管理、経済性、省資源化に配慮し、利用者の使いやすさにもアプローチした合理的な建物とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
空気質環境において、化学汚染物質を含まない建材を使用するなどし、室内環境の衛生面に配慮した。	維持管理において、内装や外装面設計で配慮した計画を行い、利用のしやすさを提供できるよう工夫した。	敷地内の緑化を積極的に行うことで、敷地内の温熱環境の向上に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
幹線毎に中央監視設備による電力量計量を行う計画とし、効率的な機器の運用に配慮した。	自動水栓を採用し、水資源の省資源化に配慮した。	歩行者の動線と車両動線を明確に分離し、利用のしやすさに配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0045

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	特定医療法人 新仁会 新仁会病院						
	建設地	大阪府和泉市寺田町二丁目						
	用途/区分	病院						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容	スコア	評価				
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4				
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3				
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0					
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0					
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4				
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4				
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—				
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない	報告しない			
その他								
		技術の名称	考慮事項					
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							